

CASBEE[®] さいたま2016年版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 開成学園新体育館 | 階数 | 地上1F |
| 建設地 | さいたま市大宮区堀の内町1-615 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 無指定、防火指定なし | 平均居住人員 | 600 人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 1,960 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 学校 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2018年9月 予定 | 評価の実施日 | 2017年8月8日 |
| 敷地面積 | (仮想) 3700 m ² | 作成者 | ㈱片瀨設計事務所 |
| 建築面積 | 2,162 m ² | 確認日 | 2017年8月8日 |
| 延床面積 | 2,047 m ² | 確認者 | ㈱片瀨設計事務所 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|--|
| 総合 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行うなど、環境に配慮している。 | | その他 特になし。 |
| Q1 室内環境 複層ガラスの採用、断熱材の強化により外皮性能を上げているなど、温熱環境に配慮している。 屋光率を高めに設定し、光・視環境に配慮している。 また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。 | Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。 補修必要間隔の長い配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。 | Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。 空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。 |
| LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。 LED照明を採用し、設備システムの高効率化に配慮している。 | LR2 資源・マテリアル 自動水栓や、節水型便器などの省水型機器を用いるなど、水資源を保護している。 ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を91%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される